

世界に羽ばたく キッズ チアダンサー

なかの発!



チアダンスのチア(cheer)とは「応援する」「元気づける」という意味。TIGGERS DANCE TEAMは、全米世界大会での優勝実績もあるキッズチアダンスチームです。中野や周辺地域の子どもたちを中心に2006年に結成された同チームの活躍を紹介します。



▲チーム発足時からゆかりのある大和・野方地区のお祭りで元気にダンス



▲こぶしフェスティバルの一コマ。急なアンコールにも笑顔で応えます

◇地域を盛り上げるパフォーマンス

数々の競技大会で優秀な成績を収めているTIGGERS。地元に着した活動にも積極的です。昨年もランニングフェスタやオリンピック関連イベント、なかのまちめぐり博覧会など多くの催しでダンスを披露。子どもたちの笑顔と元気なパフォーマンスで区内のイベントを盛り上げました。

可愛らしさ全開の幼児、高い技術力の中学生など年齢に応じた振り付けで観客のみなさんを魅了。地域の方からたくさんのお出演依頼があります。

◇「チアスピリット」を育むダンス

子どもたちはダンスを通じて、「チアスピリット(団結力、思いやりの心)」を身につけます。イベントなどで年下の子どもたちをサポートしたり、周囲の方へ率先してあいさつをしたり、といったことが自然にできるチームの子どもたち。福祉の分野にも関わりが深く、障害者支援施設かみさぎこぶし園のお祭りやダウン症への理解促進を目的としたイベント「バディウォーク東京」にも参加しています。



なかのまちめぐり博覧会
マスコットキャラクター
「クルトン中野」と一緒に
ハイ、ポーズ

OK!



キツイけどみんなと一緒に楽しい 日々の練習風景をお見せします



▲とにかく大事な何事も基礎。何回も反復し、しっかりと身につけます



▲メンバー同士で積極的に話し合い。次に何をすべきか、自分たちで考えて行動しています

練習がとっても楽しい。
みんなで声を掛け合いながら踊っています



いつも笑顔で！みんなで考えた表現を忘れないように練習しています



▲お互いに振り付けをチェック



▲大会に向けて演技の練習にも熱が入ります。どんなに大変でも笑顔をキープ

いい演技をするポイントは、みんなの心を一つにすること



○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

保護者の声

学校とは違った集団行動の中、異年齢の子と接することで成長していると感じます。初めは恥ずかしがっていたのに率先してあいさつできるようになるなど、社会に出て役立つマナーが身につきました



▲指導者の君島典子さん

チアダンスを通して人間性も磨いています

ダンスの技術だけではなく、人としてお手本となる言動を学んでほしいと考えています。もちろん、競技大会に出場するからには全力で取り組みますが、その過程が大切です。目的は、お互いを応援し合い、困難に直面しても笑顔で最後までやり抜く力を身につける人間教育。メンバーは「ピンチはチャンス☆」をモットーにどんな時も前向きに諦めず練習に励み、人間性も磨いています。

地域のみなさんの応援のおかげで、今年で結成15周年。みなさんに感謝の気持ちを伝え、チアを広めるため、地域の催しへも積極的に参加しています。見掛けたら、どうぞ温かく子どもたちを見守ってください。

3年連続の快挙

世界大会の出場権を獲得

アメリカ・フロリダ州で開催される「ザダンスサミット」(中学生以下の世界大会)。国内大会で優秀な成績を収め、なんと3年連続でこの大会の出場権を獲得しました。今年の開催は未定となってしまいましたが、常に全力を尽くしています。チームHPから活動の様子をご覧ください



応援よろしくお願いします!!